

会議録（要点記録）

令和6年度 堺市南区政策会議（第2期） 第2回未来共創高校生部会	
開催日時	令和6年7月31日（水） 午後1時00分～午後2時39分
開催場所	南区役所 201・202会議室
出席委員	橋爪構成員、今中構成員、 浦島特別構成員、佐々木特別構成員、岡上特別構成員、山本特別構成員、 竹村特別構成員、久保特別構成員、増永特別構成員、松下特別構成員、 村上特別構成員、マルド特別構成員、カンデル特別構成員
事務局 管理職員	南区役所 中山区長 阿加井副区長・松本副区長 杉参事・西参事・仲田総務課長・上山区政企画室長 牧市民課長・岡野保険年金課長・川畑自治推進課長 森岡生活援護課長・浅野地域福祉課長・百嶋子育て支援課長 為野南保健センター所長・檜本南保健センター所次長
議題	1. 開会 2. 議題 （1）南区ブランド「M&GREENs」ロゴマークの決定について （2）南区のウェルビーイングについて 3. 閉会
配付資料	・次第 ・配席図 ・構成員名簿 ・資料1 南区ブランド「M&GREENs」について ・資料2ー1 南区ウェルビーイング見える化プロジェクトのアンケート調査報告 ・資料2ー2 南区ウェルビーイング像について ・資料2ー3 南区ウェルビーイング見える化プロジェクトのアンケート調査集計結果

審議状況	開会（午後１時００分） １．開会 区政企画室主査 定刻になりました。ただいまから、堺市南区政策会議第２回未来共創高校生部会を始めさせていただきます。 私、本日の司会を務めさせていただきます南区役所区政企画室の田中と申します。 皆様におかれましては、何かと御多用中のところ御出席を賜り、誠にありがとうございます。 なお、本会議は公開とさせていただきます。会議録を作成するに当たって、正確を期すために議事内容を録音させていただきます。また、記録及び広報のため、事務局にて会場の様子を撮影させていただきます。何とぞ御了承ください。 部会を始めるに当たりまして、今回特別構成員の変更がございましたので、御紹介いたします。 まず、帝塚山学院泉ヶ丘高等学校から、松下湊様、村上湖杏様が新たに特別構成員に就任されました。また、大阪府立成美高等学校から、マルド・サイラ様、カンデル・アユスマ様が新たに特別構成員に就任されました。 それでは、新たに就任された特別構成員の皆様から、一言ずつ御挨拶を頂戴できればと思いますので、まず、帝塚山学院高校の松下様から、お願いできますでしょうか。 松下委員 松下湊です。よろしくお願いします。 村上委員 村上湖杏です。よろしくお願いします。 マルド委員 マルド・サイラです。よろしくお願いします。 カンデル委員 カンデル・アユスマです。よろしくお願いします。 区政企画室主査 ありがとうございました。 未来共創高校生部会も２年目に入ります。構成員の皆様におかれましては、本年もよろしくお願いいたします。 なお、本日は下特別構成員が所用により御欠席されております。 次に、本年度の異動に伴い新しく加わりました本市管理職を御紹介させていただきます。 《紹介》 その他、事務局につきましては、お手元の配席図を御参照ください。 続いて、本日の配付資料の確認をさせていただきます。 《資料確認》 それでは、以降の進行につきましては、橋爪部会長にお願いいたします。 ２．議題 （１）南区ブランド「M&GREENs」ロゴマークの決定について
------	---

橋爪部会長

橋爪です。よろしくお願いいたします。

今回、新たに参加される特別構成員の方が複数おられますので、本日はまず議題に入ります前に、本部会のこの会議の位置づけ、あるいはこれまでの議論の内容を簡単に振り返りたいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。

区政企画室長

未来共創高校生部会は、区の実情や特性に応じた区行政の実現を目的に実施する南区政策会議に関連して、特に若い世代の方々の御意見を頂戴することを狙いとして設置したものです。

昨年度の第1回部会では、第1期南区政策会議の議論を踏まえ、区として取り組むべき3つの方向性として掲げた、「安全・安心」「子育て・教育、健康長寿」「ブランド戦略」について、それぞれテーマを設けて御議論いただきました。

また、南区ウェルビーイング像の可視化に向けた本市独自の南区ウェルビーイングアンケートについても御説明をさせていただいたところです。

本日の部会につきましては、アンケート調査の分析結果等を見ていただきながら、南区ウェルビーイング像の議論を中心に進めてまいりたいと思います。このウェルビーイングの議論については、次期堺市南区基本計画への策定につながる重要な議論であると考えております。活発に議論を深めていけたらと思いますので、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

以上になります。

橋爪部会長

ありがとうございました。

それでは、議事に入ってまいりたいと思います。

まず、議題の1つ目、報告事項であります。南区ブランド「M&GREENs」ロゴマークの決定について、事務局より説明をお願いいたします。

区政企画室長

資料1を御覧ください。

前回の会議でもアナウンスさせていただいたんですが、南区役所では第1期堺市南区政策会議の御意見を踏まえてまとめた南区ブランド戦略に基づき、南区の魅力である緑とともにかなえる豊かな暮らしを南区ブランド「M&GREENs」として表現し、この南区ブランドの確立を目指しています。

また、南区ブランドの浸透を図るため、本年1月から3月にかけて「M&GREENs」のロゴマークデザインの公募を実施しました。公募の結果、219件の応募があり、南区役所職員による一次選考、南区政策会議の構成員の皆様による二次選考を経て、資料1に記載のロゴマークを選定いたしました。

このロゴマークは、笑顔で明るく、緑とともにかなえる豊かな暮らしを向上するという意味が込められており、「M&GREENs」のMとGの形を使い、Mの部分は笑顔で明るい未来、Gの部分はガッツポーズをしているような形で豊かな暮らし等を向上させていくということを表しています。また、新芽は今後の新しい暮らしや自然を表しています。

今回決定したロゴマークについては、同一または類似する先願先登録商標がないことを確認しましたので、採用作品のデザインについて商標権を出願しているところです。

また、6月には、ロゴマークの使用基準等を公表し、使用申請の受付も開始しております。今後は、このロゴマークを南区ブランドの確立に向けた取組に広く

活用するとともに、行政だけでなく区内民間企業等にも広く活用いただき南区全体で南区ブランドを発信することを想定しております。

加えて、区民等から活用方法についての意見聴取を行うなど、ロゴマークの活用と並行して効果的な活用方法の検討を進めていく予定です。

説明は以上になります。

橋爪部会長

ありがとうございました。Gのところがガッツポーズということでございます。今後の活用をどうしていくのかということも先々御意見を賜ればと思っております。本日は報告ということで、本件以上でございます。

(2) 南区のウェルビーイングについて

橋爪部会長

次、議題の2、南区のウェルビーイングについて、まず事務局より説明をお願いいたします。

杉参事

それでは、これより南区ウェルビーイング見える化プロジェクトのアンケート調査結果の概要について、まず御説明をさせていただきたいと思います。

資料2-1、1ページ、調査の目的・概要を御覧ください。

まず、調査の目的です。

令和5年5月にデジタル庁が8万5,000人を対象とした全国ウェルビーイング調査を実施しています。その中で、堺市南区の回答数は196名でした。その196名の内訳に関しましては、50代以上の回答が多い状況ということでございました。

そのため、若い層を含めて各世代の意見を収集して課題を深掘りし、南区の課題やウェルビーイング像の可視化、分析するために、堺市、大阪公立大学、西日本電子電話株式会社（NTT西日本）が連携してアンケート調査を行いました。

調査概要は記載のとおりで、アンケートの集計結果は資料2-3のとおりとなっております。

続きまして、2ページの回答者の属性を御覧ください。

今回の調査では、593件の回答数を得ることができました。これは統計学上の話になりますが、令和5年12月時点の南区の全人口である13万1,846人の母集団に対し、95%の信頼度で南区全人口の意見を代表していると言える有効なサンプル数は383人以上というふうになっておりますので、今回の回答数は調査結果として有効であると言えます。

また、破線で囲んでいますが、40代以下の世代の回答数を多く確保することができました。

続きまして、3ページの世代区分を御覧ください。

回答者を3つの世代、40代以下単身・夫婦のみ、40代以下子育て中、50代以上に区分した比較を用いて、暮らしの満足度を分析しました。

4ページの暮らしの満足度の分析方法を御覧ください。

アンケートのQ10「南区での暮らし、活動に満足されていますか」と、Q11「各項目について、南区での満足度を教えてください」の回答を基に、各項目の満足度と暮らしの満足度への影響度の相関分析を行いました。

右上の強化・維持は、満足度が高くかつ暮らしの満足度への影響は大きいと考えられます。ここは南区の強みであり、引き続き高い満足度を維持するために重点的に取り組む項目となります。

	左上の要改善は、暮らしの満足度への影響が大きいにもかかわらず満足度が低くなっています。ここは、南区の改善ポイントとなります。 右下の様子見は、満足度は高いものの、暮らしの満足度への影響度は大きくありません。ここに位置する項目では、市民が特に感じないという認識を持っている場合が多いと考えられます。 左下の注意は、暮らしの満足度への影響度、現状の満足度ともに低い項目です。ここは、改善してもあまり暮らしの満足度は上がらない可能性がある項目となります。 5 ページの要因分析（全世代）を御覧ください。 領域を区分するために縦軸の0.40と横軸の53.0で線を引いています。縦軸は一般に0.4以上で相関性が認められるため、その目安として0.4で線を引いています。 横軸は、暮らしの各項目の満足度の全世代での平均値が53%であり、その目安として53%で線を引いています。 全世代で見ると、南区の強みと言える右上の強化・維持領域に、自然・医療機関の充実度、子育て、買物、自身の健康を高める環境の項目があります。 次のページから、3つの世代ごとの要因分析を見ていきます。 6 ページ、要因分析40代以下、単身・夫婦のみを御覧ください。 南区の強みと言える右上の強化・維持の領域に属する項目がほとんどなく、赤色で囲んでいる子育ても左上の改善領域に属しています。 7 ページ、要因分析、40代以下、子育て中を御覧ください。 南区の強みと言える右上の強化・維持の領域に属する項目が増えており、子育ても右上の強化・維持領域に移動しています。 8 ページ、要因分析、50代以上を御覧ください。 ここでも、子育てが右上の強化・維持領域に属しています。子育て中、または子育てを経験した50代以上の世代では、子育ての項目が強化・維持領域に属しているので、40代以下、単身・夫婦のみの世代に南区の子育ての魅力は理解されていない可能性が考えられます。 9 ページ、Q33「魅力あるまちづくりに向けた要望・意見」を御覧ください。 Q33「南区を魅力あるまちにするために御意見、御要望をお聞かせください」という自由記載の主な回答を記載しています。ここでは、世代、交通に関する要望・意見が多い結果となりました。 10 ページ、第1期区政策会議の3つの方向性に関する項目ほかとスマートシティについてを御覧ください。 南区ウェルビーイングアンケート調査結果を、①安全・安心、②子育て・教育、健康長寿、③ブランド戦略ほか、④スマートシティに分類しました。 次のページ以降で、各分類のアンケート結果を説明します。 11 ページ、Q24「防災訓練に興味があるか」を御覧ください。 まず、①安全・安心に関するものになります。 40代以下の層は、50代以上に比べ参加率は低くなっています。一方で、興味があるという回答も4割前後あります。 12 ページ、Q25「防犯対策で最も強化してほしい取組」を御覧ください。 世代共通で、防犯カメラと防犯灯の増設が多い結果となりました。 13 ページ、Q18「子育てしやすい環境に必要なもの」を御覧ください。 ここからは、②子育て・教育、健康長寿に関連するものになります。 40代以下、単身・夫婦のみの世代は、治安がいいが最も多くなりました。 14 ページ、Q21「健康維持のために何が必要か」を御覧ください。 世代共通で、身体活動・運動、栄養・食生活、健診・検診の順に多くなりました。
--	--

	15ページ、Q22「健康に関して利用しているアプリ」を御覧ください。 40代以下の層では、利用していないと回答した方も一定数います。 16ページ、Q13「最も落胆したこと」、Q16「最も感動したこと」を御覧ください。 ここからは、③ブランド戦略ほかに関連するものになります。 落胆体験は運賃が高い、感動体験は自然が豊かが世代共通で多くなっています。また、感動体験で緑道が魅力的であると回答した方も多く、南区の強みであると言えます。 17ページ、Q29「幸せに必要なもの」を御覧ください。 世代全体で身体が健康が幸せに必要なものとして最も多くなっています。40代以下の層では、近隣住民との交流を幸せに必要なものと捉えている人は少ないような状況となっております。 18ページ、Q27「生活する上で便利になると思うサービス」を御覧ください。 ここからは、④スマートシティに関するものになります。 世代全体でスマート街路灯、健康アプリ、スマート区役所が多くなっています。 19ページ、Q28「生活する上で届けてほしい地域の情報」を御覧ください。 40代以下の層は、カフェなどおいしい飲食店の情報と、商店・スーパー等のお買い得情報が多くなっています。一方で、50代以上では参加可能な文化、スポーツ、健康、趣味などの健康情報が多くなっています。 以上が調査結果の全てになります。 引き続きまして、南区のウェルビーイング像について説明をさせていただきますと思います。 資料2-2を御覧ください。 先ほどの調査結果から、安全・安心、子育て・教育、健康長寿、スマートシティ、その他の4つに分類をさせていただいております。 図の中の記号は、資料2-1、5ページ、要因分析全世代の項目を記号で表記しています。例えば資料2-1の5ページ、右上部分は満足度が高い、影響度が高い、いわゆる強化・維持の領域にありますので、資料2-2のウェルビーイング像では、該当する項目は二重丸ということで表記をさせていただいております。 右下部分は、満足度が高い、影響度が低い、様子見の領域になりますので、一重丸ということで表記しております。 左上部分は、満足度が低い、影響度が高い、要改善の領域にありますので、こちらの資料2-2では黒の塗り潰した丸で表記をさせていただいております。 なお、左下部分は、満足度が低い、影響度が低い、注意の項目ですが、ウェルビーイングとの相関性が低いことから、その中には入れておりません。 また、図の中で、右を向いている矢印の記号があるかと思いますが、これは暮らしの満足度の要因から考えられる因子ということで列挙しているものになっております。 これらの安全・安心、子育て・教育、健康長寿、スマートシティ、その他の4つの項目から成るウェルビーイングの因子は、南区が掲げるブランド戦略により高められるといった図として表しております。 今回の調査により明らかになったことを、次期堺市南区基本計画や今後の施策事業に反映し、南区のウェルビーイング向上につなげるものとしております。 今回の調査結果は、資料2-1の5ページの要因分析、全世代が示すように、自然・医療機関の充実度、子育て、買物、自身の健康を高める環境は、満足度、影響度ともに高く、安心して暮らせる環境、教育については、影響度が0.4を
--	---

下回るものの満足度が高いとの結果が出ております。

このことは、これまで南区が第1期区政策会議で議論し取り組んできた安全・安心、子育て・教育、健康長寿、ブランド戦略という3つの方向性と合致しているものと考えています。

今後は、この結果を踏まえ、第1期区政策会議での方向性を大きく変えるのではなく、強化していくという方向で考えていきたいと思っております。

なお、今回特別構成員の皆様には、事前に本議題に係る南区からの質問事項を3点お示しさせていただいております。

まず、1点目、南区ウェルビーイング見える化プロジェクトアンケート調査結果から率直に感じることや御意見ということになっております。

2点目、御自身の居住環境や通学環境、学校生活などを踏まえ、特別構成員の方々のような若い世代の方にとっての南区のウェルビーイングとはどのようなものであるかと考えているかということについて、御意見をいただきたいと思っております。

3点目、南区ウェルビーイング像の案について、御自身の考えと合致していること、異なっていること、今の案に足りないと思うような要素などあるかということについて御意見をいただきたいと思っております。

これら3点について、本日の説明を踏まえまして御意見をお願いしたいと思っております。

以上でございます。

橋爪部会長

説明、ありがとうございます。アンケート調査の報告をいただきました。ウェルビーイングという言葉がキーワードになっております。新しい方もおられますので、簡単にウェルビーイングとはそもそも何かを少し説明したいと思います。

ウェルビーイングというのは、体も心も社会との関係、つながりも良い状態が一人一人なっていることを示しています。言葉としてはすごく古くて、1946年に世界保健機構ができたときにウェルビーイングが大切だということを掲げていました。ただ、注目されたのはこの10年ぐらいです。要は、それ以前は世界は経済成長をしなければいけないので、経済的な指標、世界で経済の分野で世界何位かとか、GDPという数字でそれを伸ばしていこうというのが様々な事業の考え方の前提でした。

あと、日本の場合は戦後、人口が増えていっていたので、人口増加を前提に社会をつくりました。ところがそれだけは駄目だということで、2010年ぐらいに世界幸福度の指標というのが出て注目されました。要は、金銭的な、経済的な豊かさだけではなくて、心も体も社会の中で生きているってということでも幸せだと感じている国がいいんじゃないだろうかということが示され、世界各国でそうだという声が上がってきました。

日本でも、2021年の日本政府の成長戦略に日本もこれからはウェルビーイングが大事だということを目標に掲げたんですね。それぞれの市とか、ここであれば堺市南区がそれぞれのその地域のウェルビーイングというものを掲げて、区民の方、市民のためにいろんな事業をしましょうということを全国の地域とか街に日本が政府として示したのが2021年以降のこと。すごく最近の話です。

今、堺市南区でアンケートを採って南区独特のほかのまちとは違うウェルビーイング、心も体も社会関係、人間関係も健やかな地域をつくっていききたいということで、今日御意見を伺いたいということでもあります。

1点だけ分かっていたきたいのは、よく似ているのが幸福。ウェルビーイングとハピネスって似ているってよく言われるんですけども、ハピネスのほうは瞬間的な幸せで、ウェルビーイングというのはその状態がどれだけ続くのかと。体も元気で心も健やかで、地域との関係というのもいいということが続いていく

ということがウェルビーイングというふうに定義はされています。

その辺りを前提で説明をした上で、先ほど報告にもありましたように、事前に質問といえますか意見をいただきたいということで3項目投げかけております。アンケート調査結果から感じることや御意見、御自身の居住環境、通学環境、学校生活など踏まえて若い世代にとっての南区のウェルビーイングとは何か。

あと、先ほどありました南区のウェルビーイング像という前提となるイメージについて、何かこれで十分かとか、ここは少し違うのではないかと、ここはいいとか、そういうふうな御意見をいただければと思います。

前は挙手をいただいて発言をお願いしていましたっけ。

今中委員

多分、挙手で。

橋爪部会長

多分。ただ、全員に発言してもらいたいので、いずれ順番が回ってきますが。

今中委員

早い方が楽です。

橋爪部会長

早いほうが楽だと思うので。では意見ある方は手を挙げてください。というとなかなか手が挙がらないので、順番にしようか。

浦島構成員から、いいですか。

浦島特別構成員

アンケートの結果のグラフのほうをメールで資料を頂いたときから見させてもらっていたんですけど。やっぱり南区に学校に通っているときに、道とかが狭かったりする。車通りが多いところがあったりしたときに、自転車との事故とかがあったりするということを結構聞いてきたところがあるので。住みやすさということに結構当たってくると思うんですけど。バスを増やすにしても、そういうところで交通事故が起きてしまっただけは意味がないので、道路の整備とかも含めて住みやすさということを考えていけたらいいなというのは思いました。

子育て・教育、健康長寿のほうは、前回の会議のときに南区のほうでイベントをしているということを教えていただいて、僕は南区に住んでいないので参加とかはしていないですけど。住んでいる友達とかに小さい頃、こういうの行っていたいなのを聞いたら、知ってたけど行くのは限られてたみたいなのを聞いたりして。知ってるけど行けないとかいう。それと、そもそも知らないとかそういうのがあるので、場所とか交通アクセスの良さっていうのが住みやすさに直結していくんじゃないかなって思いました。

スマートシティのほうで、スマート区役所ですね。区役所のサービスを使いやすくするっていうところで話したと思うんですけど、区役所に行ったらこの書類が出せるよねとかいうのってある程度は分かっていたりするんですけど、そういうときにどういう書類が要るのかってホームページを調べても意外と出にくかったりするんで、そういうところで分かりやすいまとめがあったらいいのかなって思います。

橋爪部会長

ありがとうございます。区役所、分かりにくいという。後ほど、まとめて区長に御意見をいただきたいと思います。今中さんも、途中何かあれば異議を挟んでいただいて。

今中委員

ありがとうございます。

橋爪部会長

では、岡上さんかな。

岡上特別構成員

はい。資料2-1の6ページに子育ての件で、子育てが終わっている世代は満足度が高いって話をしていたんですけど。子育てをしていない世代は、正直子育てのことは関係してないから現実性がないのかなと思って。ここがまだ駄目なイメージのほうが強いから、あまりいいイメージを持ってないと思うので。子育てをしていない世代にもう少しいいイメージを持ってもらえるような動きにしていっていいのかなというふうに思いました。

あと、スマホとかを使ってやるものが多いなっていう印象を持ったんですけど。年配の方と違って、そういうのを言われても自分たちで使えないというのが多いと思うので、そこでも若い人が教えるとかいう場を設けていたら、若い世代との交流も増えるし、年配の方たちも使いやすく過ごしやすくなっていくのかなというふうに思いました。ありがとうございます。

橋爪部会長

ありがとうございます。では、山本さん。

山本特別構成員

僕からは、前回この会議に出たら、次のとき絶対言おうと思ったことがあったのを思い出して。防災とかにもかじることになるのかなと思うんですけど、道路の排水がすごく悪いと思います。僕、泉北高校から泉ヶ丘を歩いて行ってるんですけど、泉ヶ丘のバスロータリーのところ辺とか、大雨が降ったとき道路がもう冠水道路みたいになってることもあったりとか、わざわざそれを避けてとか。友達は水たまりに気づかずばしゃんといったりとかっていうのをよく見てきたので。そういうところも安全・安心につながるかなというふうに思うし。そこで嫌な気持ちになるっていうのは絶対あると思うので、そういうところをちょっと変えるだけでも、学生であったり年配の方でも駅まで徒歩で移動しているという人もアンケートであって、280人ぐらいの人が駅まで徒歩で歩いていっているところなので、その駅までの環境というか、そういう整備も必要なのかなというふうに思いました。

南区での遊び、娯楽、外食みたいなところが満足度が低くて影響度が高いみたいなことなんですけど。学生からしても、南区で遊ぼうとはならない。もともと泉北高校の近くにもボーリング場があったりとかしたんですけど、そこも潰れたりして。遊びに行く高校生、若い世代が行きやすい場所っていうのがないから、そういうのを公園とかでも意外と高校生は集まったりとかするんで、場所がちゃんとされたところがあれば。そういうのも小さな工夫から攻めていくのはすごくいいんじゃないのかなというふうに思いました。

以上です。

橋爪部会長

ありがとうございました。どういう遊び場がいいですか。アーバンスポーツができる公園とか。でもない。

山本特別構成員

前回ちょっとお話ししたんですけど、取りあえず集まる場所があればいいかなという感じなんで。

橋爪部会長

山、山ね。

山本特別構成員

泉ヶ丘駅の小さい山。ああいうところがあるだけでも、学生からしたら全然ちがうかなという感じです。

今中構成員

それってさ、単にベンチがあるとか、そういうわけでもないの。どんなんやったら集まりたいなとか。駅に直行するところを、ここでうんと曲がってそこに行くんだろうか。

山本特別構成員

山の話をする、泉ヶ丘の駅前に2年前ぐらいに、工事する前はあったんですけど。小さいスタバの前に小さい山があって、丘みたいな。そこで学校帰りとか部活終わりに、電車の時間がちょっとあるからそこでだべったり、しゃべったりとかって感じで。ベンチって言われると、どちらかと言えば御老人の方とか座っているの。泉ヶ丘に結構あると思うんですけど、そのベンチっていうのは。

だから、学生は地べたでもいいんで。ただ、でもその山があることで、その山に勝手に集まっていくっていう感じなんで。やっぱベンチと違うところはそういうところなのかなという。もう既に使われているところ、高校生がどけどけって行くわけじゃないんで。子供向けというか、若年層向けの何かがあればいいかなっていう感じです。

橋爪部会長

ありがとうございます。基本的にベンチなどいろんなもの作り過ぎてるのではないかな。極論では芝生などなくても良いということかと。なるほど。

では、カンドルさん、お願いします。

カンドル特別構成員

資料2-1のQ33に「魅力あるまちづくりに向けた要望・意見」の行政サービスの欄にイベントを増やしてほしいという意見があります。それで、海外から来た人が自分の国を紹介できるイベントを南区で開催することを提案します。自分が経験したことを通してお互いの文化を知るイベントが必要だと思います。

小学校6年生のときに日本に来たとき、給食でおかずを手で食べていたら、クラスメイトが集まってきてとても恥ずかしい思いを感じました。手で食べる国もあるっていうことを知ってもらうことで、あんなに恥ずかしい思いをしなくてもよかったんじゃないかなと思います。ネパールでは手で食べるし、そのほうが味もおいしく感じられます。

それから、ネパールでは、結婚した際に夫から赤い粉、ティカってやつがもらえます。最近母と美容室に行ったとき、美容師さんが、ティカ、赤い粉を見て「血が出てますよ。」って言われてティッシュを持ってきてくれました。心配してくれたのはすごく分かるんですが、でもティカについて知ってもらうことができていたらそういうことはなくなるのじゃないかと思ひ、複雑な気持ちになりました。

国によって文化や考え方が違いますが、それぞれの文化は全て素晴らしいものだと思います。みんなお互いの文化を尊重し、自分の国を恥ずかしがらないで過

ごせるようになってほしいです。

それで、様々な文化を楽しみながら学ぶことができるイベントがあれば、いろいろな国の文化や考え方、背景を知り理解することができると思います。大人だけではなく、子供の頃からこういうイベントに参加することで異なる文化を理解して興味を持ってもらうことができると思います。

海外にルーツのある生徒と交流することで、お互いを認め合い尊重することができます。違いを恐れず楽しみながら受け入れてほしいです。

以上です。

橋爪部会長

ありがとうございます。とても大事なことを。また、後ほど区長から、国際的な総合理解、異文化教育等も学校教育の現場でもそうかと思いますが、その辺りもあれば。

今中委員

いいですか。

橋爪部会長

はい。

今中委員

カンデルさん、ありがとうございます。いろんな文化がある。それを多様性をお互い認め合うというのは、まさに必要なことだと思うんです。

今、日常生活をやっている一番欲しいこととか、一番困っていることってというのはどんなことになりますか。

カンデル特別構成員

一番困っていることですか。

今中委員

これは、ネパールの方全体というよりも、カンデルさん自身が困っていることっていうと何になるか教えてください。何が一番欲しいかとか。

カンデル特別構成員

今は日本語がしゃべれてあまり困ってないんですけど。日本に来たばかりとかは、結構コミュニケーション、人との関わりが結構難しくて。学校とかでもあまり友達ができなかったりとか、言葉の壁があって。

今中委員

じゃあ、放課後とかにちょっと寄って行って、そういうお国の言葉とか日本語でお話できるような、そういうところがあればよかったかなみたいな。

カンデル特別構成員

そういうのが欲しいです。

今中委員

分かりました。ありがとうございます。

橋爪部会長

ありがとうございます。ほかの方のコメントでも何かもし発言があったら、手

を挙げてくれたら振りますので。いいですか。
では、佐々木さんから順番に回ります。

佐々木特別構成員

僕は、まず、防災訓練に興味があるかっていうところで、興味があるが参加したことはないっていうことだったんで。僕的には、まだ公園とかに施設をつくって365日いつでも体験できるようにしていたら、暇なときに行って。子供でも体験できるように地震を体験する機械を置いてあったり、ロープの結び方とか、もしものときとかの体験ができるようにしておいたほうがいいかなと思いました。

あと、防犯対策については、防犯カメラ、防犯灯を増やすというのがあるんですけど。僕的には、防犯カメラをもっと増やしたほうがいいかなと思うのと、防犯灯を増やすというのとは一番やってほしいなと思っていて。夜、塾帰りとかに自転車をこいでいたら、いきなり人が現れる感じで真っ暗、暗いところから死角から出てくる感じでひきかけるということが僕はあったんですけど。置き方がカーブのこの内側に置いてなかったりして届いてなかったりとかいうところがあって危ないなと思いました。

あと、地域の人ともっとコミュニケーションが必要かなと思ひまして。僕が住んでいる、赤坂台に住んでるんですけど、地域の人と擦れ違っても挨拶をしても返ってこなかったりとかもあって。やっぱり地域とつながっているだけでも防犯上、よかったり、災害時、この家、誰もいないみたいになってて。本当は人がいて助からず、津波が来たとしても流されてしまうとかあるかもしれないんで、やっぱり地域のコミュニケーションは大切かなと思いました。

あと、高校生の遊び場というのさっきあったんですけど。僕的にも、遊び場をもっと増やしたほうがいいかなと思ってて。やっぱり今スマホ社会でゲームとかいっぱいしたりして不健康な子供があったり。運動するのも脳の活性化とかあるじゃないですか。なので、やっぱりもっと動くことも大切かなと思うので、公園にもっと全力で遊べる場所をつくったほうがいいかなと思って。

僕の赤坂台なんですけど、そこはグラウンドはあるんですけど、全力で遊ぶとボールが池に入っちゃったりとかしたりして残念だなと思ってて。あと、ボールで遊ぶなって書いてたり、高校生にしてはまだ全力で遊べないなと思っていて。時間制限とかつুক্তたりしてバスケットボールとか置いたりしてたら、高校生としては楽しい遊びができるかなと思いました。

以上です。

橋爪部会長

ありがとうございます。では、お願いします。

坂下特別構成員

最近、すごい海外からの観光客の人が日本全体を通じて増えているなと思っていて。南区っていうのはすごいたくさん自然があるし、きれいな公園もあるので、観光に対してもっと広告みたいなのをたくさんできたら、海外の観光客の人ももっと来てくれるんじゃないかなと思っていて。

海外の人も、前に1回泉ヶ丘で迷っている人がいたんですよ。それで、声をかけてもらったから案内をしたんですけど。もうちょっと掲示板とかでも英語の表記がないのとかもあるので、そこももうちょっと日本語だけでなく英語でももうちょっといろいろあったらいいのかなと思います。

あと、留学生がもう帰ったんですけどクラスにいたんですけど。バスとかの乗ることとか、時刻表の見方が分からないとか。それで結構バスと電車を使って帰るのが難しかったとか、そういうのをよく聞いたので。そういう言語のサポート

がもうちょっとあったらいいのかなと思います。

今中委員

時刻表とかって、数字やから分かると思うんですけど、そうでもないのかな。

坂下特別構成員

もともと見方をちゃんと分かってなかったと思うので。

今中委員

結構、万国共通。

橋爪部会長

今中さん、南海電車の方なので。

駅のとか、南海バスの表みたいな話になっていますが。

今中委員

どうでしょうね。時刻表、確かに日本語しかないっていうところは弱点かなと思いますけど。その5時、6時、7時とかいう乗車する時間帯とかいうのは、多分万国ほぼ共通やから、そこは大丈夫かなと思いつつ。

でも、先に払うのかとか、どうやって最初に何をタッチするのかとか。そういう辺りは確かに不親切極まりないので、もっともっと考えていかなあかんと思いました。

橋爪部会長

どこそこ行きとかは英語表記なんですか。

今中委員

いや、ほぼない。

橋爪部会長

ほぼない。

今中委員

この辺はないんちゃいますか。

坂下特別構成員

ほぼないと思います。

今中委員

そうですね。

橋爪部会長

じゃあ、竹村さん。

竹村特別構成員

私は学校まで自転車で通っているんですけど、道が凸凹なところが多いなと思って。本当に前にかごを置いていたら、かごの中の荷物が飛ぶみたいなそんなところもあるので。

さっき山本さんが言っていた水たまりが多いというのも本当に分かって。雨のとき、レインコートをかぶってめっちゃ大変な思いをしながら行っていたら、隣

に車がびゅーんときてばしゃってなったこともあるので、そこを考えてほしいなと思っています。

橋爪部会長

一応、自転車専用道にはなっているんですか。

竹村特別構成員

そうです。専用のところの青い道です。

橋爪部会長

専用道が端のほうやから、余計水が。排水するところに近いんですかね。場所にもよりますか。

竹村特別構成員

そうですね。

橋爪部会長

うんうん。後で堺市からまとめているいろんなおわびが出てくるかと思います。久保さん、お願いします。

久保特別構成員

私が資料とかを見てて思った中に、医療機関のほうはめっちゃ充実してるっていう意見が多くて。でも、交通の便を考えたときにやっぱり交通料が高かったり、泉ヶ丘周辺とか近道とかが年配の方とかには優しくないような感じの道が多いなと思っていて。そういうところをもうちょっと改善できるような交通ルートじゃないけど、そういう感じのがあったらいいなと思いました。

あと、今日、学校来るときにたまたま外国人の方に道を教えてくださいみたいって言われたんですよ。私は、ＪＲのほうから南海に乗り換えて来ているんですけど。ＪＲのほうで言われたときに、たまたま私が行くところの通り道だったから教えられたんですけど、乗換えとかがやっぱり説明が難しくて。英語を話せるかって聞いたら、英語もあまり理解してない方だったんですよ。だから、難しいですけど、英語とかもたくさん表示するのもいいと思うけど、見てもっと分かりやすいような図があったらいいなと私は思いました。

以上です。

橋爪部会長

ありがとうございます。では、次、お願いします。

増永特別構成員

資料２－１の２ページなんですけど、回答者の属性というところで、後の資料にもあるんですけど、４０代以下と５０代以上っていうふうに区分分けしているんですけど。４０代以下のほうで見たときに、４０代の私たち高校生の親世代ですね。やっぱりその代が圧倒的に多いんで、２０代の人の約２倍ぐらいの人数がいるので。やっぱりこういうグラフとかのデータが全体的に４０代の意見に寄っているかなというふうに思うので。２０代、３０代、４０代っていうふうに、子育てという面を考えたら分けてデータとかをやっていったほうがいいんじゃないかなと思うのと。

これは南区の考え方というか、分からないので何とも言えないんですけど。質問っていう形になるんですけど。南区としてはどういう、私たち高校生世代の人が南区に住んでほしいのかとか、新しく親になる人とかそういった人たちに移住

してもらいたいのかっていうので、どういう人たちを目的にして移住してほしいのかという目的はどんなのか知りたいです。

橋爪部会長

事務局、区長お願いします。

南区長

どういう人に移住してほしい、移住というか今南区に住んでおられる方はずっと南区に住んでいただきたいというのがまず一つですね。

堺市として全体で見たときに、やはり堺市からの転出人口というのが多いんですね。南区は特に20代を越えられる年代、20代、30代の転出人口っていうのがすごく多いんです。ここがやっぱり一つネックであるというふうに分かっているんですけども。

結局、それは多分お仕事の関係。高校生、大学生になられて、そこから職業を選択されるときにやはり南区で住んでいる状態でなかなか仕事というものを選べない。勤め先とお住まいが時間がかかる。例えば、梅田とかに就職したとしたら、そのときの通勤時間がすごくかかってしまうということがやっぱり仕事を続ける上でのネックなんかなというところは思っています。

そうはそう言っても、今働き方も変わっていますし、御自宅でお仕事をするということも可能なので、やっぱりそこは職、働くことと生活することがより南区で両方兼ねてできるような形が理想だと思っているので。私たちとしては、やはりここに住んで、ここに生涯を南区で終えていただくような形が理想だとは思っています。

だから、今数字で言うとやはり20代、30代になって南区を出ていかれる方が多いので何とかしたい。今、高校生である皆さん方もここがいいとこやというのは分かってくださっているので、やっぱり南区に住もう、もしくは南区で勤めようというところが必要なかなと。

仮に、一旦外に出られたとしても、家族を持たれてやっぱり自分の子供は自分と同じように育ててほしいということで、南区にお住まいをというところ、戻っていただけるような形のいいイメージ、いい形、ウェルビーイングですけども。ここで自分たちの生活スタイルをというところを持っていただけるような、そういう意味合いでは考えています。

増永特別構成員

ありがとうございます。

あと、もう一つだけ、話をしたいんですけど。さっき言ってくださった防災訓練の話で、ちょっと関わりがあるかなと思ったので話すんですけど。

南区って、実際住んでいる人というか、家とか住宅のほうの仕事場とかそういうのより割合的には多いのかなというイメージが自分的にはあるので。やっぱり全体的に見ても堺東とか大阪市のほうに、南区で住んでいる人たちは仕事に行ってしまうので、南区としてやっている防災訓練には参加しにくいんじゃないかなっていう。仕事に出してしまうので。

だから、南区でも仕事ができる環境っていうのをつくっていったら、そういう災害対策のときとかも企業とかと連携してそういうのができるのかなと思うので。いろんなやり方があると思うんですけど、そういうのも防災対策としては一つの手なのかなというふうに思いました。

橋爪部会長

ありがとうございます。また日本中一緒に、大学生は実家から通うけど、就職っていうのはやはり東京に行くことになる。大学も京都とか神戸だったら、下宿

したい人と実家から通う人がいると思うんですけど、いずれにせよ20代前半ぐらいで南区から一旦離れる人が多い。

ここは防災の話とも関わりますが、仕事場が近くにもっとあったらええやんっていう話も一方である。郊外住宅地にし過ぎたので仕事場が少ないというのも、従来からの課題です

南区長

防災の話で言いますと、おっしゃるように昼夜人口ってあるんですね。昼間の人口と夜の人口とどうなのか。堺市なんかで一番差が少ないのが美原区なんです。美原区は昼夜人口の差が少ないですけど、南区はその差が大きいんですね。

ということは、皆さん方も今南区の学校に通っておられるからなんですけれども、昼間に災害が起こったら家に帰れないっていう可能性が高いんですね。皆さん方は南区の学校なので、南区で災害が起きたら家に帰れない。歩いて帰るかっていうことになってしまうので。

やっぱり防災訓練は、おっしゃるとおり、なかなか土日、お仕事をされていても土日であればというところもありますけれども。自営の方であったり、お休みが土日でない方はなかなか参加もしづらいというところがネックの一つで。

もう一つ、防災上、うち南区で課題やなと思っているところは、主要駅3駅で日中何かあったときに帰宅困難な方がどれほど出るんかというところ。それが発生時刻によってはすごい数になってしまうというところは、区としては今課題としてすごく考えているところです。

もちろん南海電鉄の今中委員がいらっしゃるんですけど、もちろん鉄道会社さんもその場合の避難誘導ということは考えてくださっていますけれども。やっぱり皆さん方のように、高校に通っていて帰りどうするんだというときに、それが帰れなかったらどこで一夜を過ごすのかというところは、次考えていかないといけない。南区としては、津波はないかもしれないけれども、地震のときに交通機関が麻痺したときの避難先というのは当然要るんだろうなというふうには考えています。

防災訓練のことは、おっしゃるとおり、課題では土日開催でも参加できないという方がいらっしゃるということは認識していますので、何とか考えていきます。

橋爪部会長

佐々木さんがおっしゃった、いつでもできる防災訓練の場があればということになるかと思います。

では、次に、松下さん。

松下特別構成員

僕が学校の通学で思うことは、まずこけそうなところが多いと思います。こけそうなところがあったら、高齢者や小さい子供までけがしてしまうので、そこは危ないかと思います。

あとは、学校の帰りでは、自分は明るいところに家があるので、遠くを見るとすごく暗いので街灯は必要なのかなと思います。

あとは、10ページにある空き家についてなんです。南区は高齢者がとても多いので、その高齢者を利用してというか、高齢者は多分賢い高齢者もいっぱいいると思うので、空き家を利用して若い子供たちに教えることをしたら、子供たちも賢くなって全体的によくなって、南区に住む若い人も増えるのかと思います。

そして、南区はイベントが少ないかと思います。遊ぶ場所に関しては、しっかりし過ぎるのはあまりよくないと思います。やっぱり南区を守っていきたいので

治安が悪くなったりしたら駄目なので。若い人たちはそこまで公園とかで遊ぶことはないと思うので、小さい子供たちだけで公園とかはいいと思います。

11ページの災害に対しては、まだ40代とかは心の余裕がなくて人生を達観できてないのかなと思うので、今言ったことをしていけば心の余裕ができて少しは40代も災害の訓練に参加すると思います。

以上です。ありがとうございました。

橋爪部会長

ありがとうございます。では、お待たせしました。最後になります、村上さん、お願いします。

村上特別構成員

まず、子育てについてなんですけど。子供の一時預かり施設みたいなのが南区には少ないと思っていて。そういう施設を増やすことで若い子育て世代が南区に移りに来てくれたりするのかなと思います。

あと、地域とのつながりと学習のところがなんですけど。学校帰りに教え合ったりする、高校生同士が教え合ったりする施設が少ないと思っていて。低学年の子なんですけど、私たち高校生がボランティアとして教えたり自習とかもしたりする施設が欲しいなと思っています。

地域イベントについてなんですけど。広報「みなみ」に載っていたりすると思うんですけど、高校生はあまり広報「みなみ」を読まないイメージがあって。高校生向けの広報「みなみ」のもうちょっと簡易的なバージョン、飲食店情報などを載せたそういうバージョンもチラシなどをつくるのもいいかなと思います。

SNSを活用するのもいいと思うんですけど、今南区のInstagramとかユーチューブを見させていただいたんですけど、発信方法が少し高校生向けじゃないなと思って。だから、発信方法も少し考え直すのもありかなと思います。

防災に関してなんですけど。若者は防災意識が少し低いと思うので、防災イベントを開いても集客が見込まれないと思うのです。防災イベントだけでなく、地域の食材を使ったフードフェスなどを同時に開催して、若者の集客が見込まれるような防災マルシェなどを開催するのもありかなと思っています。

以上です。ありがとうございました。

橋爪部会長

ありがとうございます。いい意見をもらいました。幾つかの指摘があったと思います。一つは国際化対応といいますか、文化との理解ということで、多言語化の看板もあんなのもそうですし。マルド委員すみません。

マルド特別構成員

南区のウェルビーイングのために一つ提案があります。それは、オンラインの日本語教室をつくることです。私の両親や兄は日本で働く人のための派遣会社にフィリピンに登録して、日本で働き始めました。私のおじは、仕事が嫌になって辞めようと思っても、派遣社員の人が辞めないようにきつく言ってくるし、外でどうやって仕事を探していいか分からなくてなかなか辞めることができませんでした。ハローワークにも行きましたが、マッチングがうまくできませんでした。それは、日本語ができなかったからです。

パキスタン人の同級生のお話も紹介します。彼は、日本に来たばかりの頃、アルバイトを探すためにハローワークに行きました。夜間中学校の先生も一緒に行ってくれたのでアルバイトを見つけることができました。でも、先生が一緒に行ってくれなかったら日本語ができないので探すことはできなかったと言っていました。

日本で仕事をするためにも、仕事を探すためにも日本語が必要です。それで、日本語を勉強するための教室が必要です。南区の日本語教室を調べてみました。教科書を自分で買わないといけない教室はありましたが、全ての教室は無料でした。

中国帰国者のための教室や、子供のための教室もありました。ただ、対面の教室はありますが、オンライン教室のある教室はありませんでした。生徒や学生だけでなく働きながら勉強する人もいるので、忙しい人のためにオンラインの教室があるといいと思います。通う時間がかからないので便利です。私が今通っている泉大津の日本語教室はオンラインです。泉大津の人だけでなく、海外の人も参加しています。

橋爪部会長

ありがとうございます。

順番にお話しいただきました。整理すると、国際化の話、今も日本語の学校とか、あとは外国語の記述とか、いろいろな海外の方に優しいまちにしていかなあかんというのが一つあるかと思っています。

2点目は、道路、自転車道やら、ぼこぼこやら、水出てあかんわとか、夜暗いとかいろんな道路の問題があります。

あとは、遊び場、たまり場、交流する場といいますか、そういう場所がもっとあっていいだろうという。

あとは、防災に関する考え方等々もつかめないといけないと思います。

もう1点が、広い意味のイベント、いろんなイベント、あるいは広報の仕方等々を改善するところがあるだろうというメッセージであったと思います。

今、全体の意見に関しまして、区役所及び区長、それぞれ御回答をいただけると幸いです。

南区長

すみません、順不同になるかも分かりませんが。

おっしゃっている国際化っていう部分については、多分ウェルビーイングという概念、南区が考えている、目指しているところでいくと、ウェルビーイングの中にも国際化というのも含められるかなと。一時、英語や中国語、韓国語って言っていたところも、そういう考え方でなくて、その方がよりよく生きるためにということになるので。南区としては、国とか言葉ではないところのよりよく生きるウェルビーイングを目指している以上、そこに含まれるかなという考え方で進めているんですけども。

確かに、日本語の教育に関しては、市役所の管轄が小学校、中学校までという形になるので、大人の方を対象にした中学校以降の日本語教育というものに対しては、堺市もしくは南区が直接やるというようなところの授業はないのが現実です。

いわゆる相談事であったり、そういう日本語を学ぶところの御紹介というのは、市の中にもそういうセクションがあるのでそちらのほうの御紹介になるんですけども。現実的に、南区ではオンラインの授業を含めてそういった対面でというようなところも数少ないと思いますし。南区そのものが中国の残留の帰国の支援の関係で、その方々を南区に20年、30年前に受け入れてきたという経過があるので、中国語に関しては対策はずっと手厚かったんだと思いますが。最近入国された中国籍以外の方へのそういった支援というのは、基本的には市でも、区でもその言語にとか、その国籍の方に特化してというのはないです。

今、区としても南区でお生まれになった外国籍の方、日本にいられて家庭を持たれて子供さんが生まれてくるっていうようなことに関しては、生まれたときからのサポートというものはしているんですけども。直接的にお二人のほうから

お話を伺ったようなところというのは、今手薄な状態であることは間違いないです。

おっしゃっているやっぱり共通理解というか、共同理解のために何が必要かというところは、多分イベントというものはきっかけの一つなるのかなと思いますので、それはぜひそういう場がもし参加していただける、お二人の国以外のいろんな国のほうが参加していただける場面であれば、何らかの形でできるのではないかなというふうに思ってます。

イベントが少ないというお声はいろいろ上がっているんですけども、逆に、ちょっとどんなイベントやったらいいのかなというところをもうちょっと具体的に御意見をいただければと思います。

もう1点、インフラについて、道路であったり排水状態がというところは、まず雨が降って道路に水があふれるのはそこが詰まっているからであって。なぜ詰まるのかと言えば、南区の場合樹木が多いので枯れ葉がやっぱり土管のところにいっぱい詰まってしまうというようなところがあって、そこが追いついてないというところと。

ニュータウンは特に50年前に一斉に整備をしてきたので、水道管を含めているようなものが老朽化してます。それを完全に取り換えられるかといったら、なかなか取り換えられないので、あちこちつぎはぎの道路になっているんだと思います。

ただ、自転車につきましては、自転車の整備のセクションもできているぐらいですので、自転車が快適に走れるようにということで青い線の自転車ラインまで作ってますので、そこはちょっともう一度、その整備の課に整備状況のほうは確認をさせていただきたいと思います。

それと、たまり場というか、駅へ多分高校の下校時間の後、お友達と別れて自転車の人、電車の人、バスの人って分かれるときの、ちょっと時間までお話しする場所ってということで、泉ヶ丘の小山のところはすごく適当な場所やったかなと思うんですね。

もう1点、よく自習室の御要望もいただくので、区としても勉強ができる環境ということで自習室の御要望が多いというのは、これどの区もいただいています。高校の方、要は高校生の方、特に学校で教室が解放されているんでしょうけれども、やっぱり7時ぐらいまで残って勉強するところが欲しいというお声は聞いているんですけども。なかなか施設的に余裕がないというところが現実です。

ですので、やっぱり自習室的なものを作るということもなかなか難しいです。札幌とかのところできれいに建物を整備された一環で、誰が使ってもいいよってというようなフロアとかを設けられるところはあるんですけども。これもやっぱり建てる前にコンセプトをちゃんと持った上で、そこはどなたが勉強してもいい。ただ、目的は勉強とか調べ物をするっていうことに限ってルールを守って使ってくださいねというところになるので。

例えば、区役所で一室をお開けするにしても、やっぱりそのルールを守っていただけるかどうかというところと。あと、泉ヶ丘であつたらニーズはあるかもしれないけれども、拇・美木多で区役所が6時ぐらいまで開けて寄っていただけるところのニーズ調査も必要になってくるので。ちょっと現実的には、今日、はいすぐできますよという話ではないので、預らせていただくぐらいになってしまいます。

あと、もう1個何でしたっけ。

橋爪部会長

おおよそ、そんなところでしょうか。

南区長

あ、防災の関係。防災の関係は、すみません、適宜お答えしたので。またそれは宿題とさせていただきたいと思います。一旦、これで。

橋爪部会長

ありがとうございます。自習室、私に関わって立ち上げたのが北海道千歳市に事例があります。駅ビルの空いているところにライブラリーっていう名前で、みんなが本を持ち寄って自由に勉強もできるし、イベントもできるスペースを行政と一緒に作りました。地方に行けば行くほど、自宅から駅降りて学校の間の乗換えの途中にみんなが集まれる場所、要は、駅にそういう場所があれば集まりやすいということかと。

区役所までは微妙な距離があるんですけど、人が集まる、皆集まる場所は駅近くに欲しい。

今中委員

集会室あります。集会室。ぜひ、使ってください。

橋爪部会長

駅に集会室が開いてる。

今中委員

センタービルの4階です。

橋爪部会長

ちょっと検討いただいて。南海電鉄がスペースを提供してもらえれば、区役所がそういうたまり場をつくれるかもです。私がつくったやつというのは、勉強しなくてもいいという建て前で。勉強する人もいるけど、横で話をしてお茶飲んでる人もいるみたいなフリースペースみたいなのをつくったんですよ。その辺もまた、どんなたまり方がいいのかいうのを。

南区長

どんな。もうちょっと具体的に。どんな場所、どんなイベントが欲しいというところを。

橋爪部会長

はい。ちょっと、これ次回もあるんですよ。

南区長

高校生部会は今回が。

橋爪部会長

今回が最後。

今中委員

でも、私も区長がおっしゃったとおり、どんなイベントなら行きたいか。さっき知っているけど行かないとか、行けないとか浦島さん、おっしゃっていたし。あと、皆さん、松下さんもイベントが少ないとか村上さんもおっしゃっていたと思うんですけど。じゃあ、皆さん、御自身が行きたいイベントってどんななんなんかって、もうちょっと教えてほしいです。

橋爪部会長

大きなライブとかでもいいんだけど。南区でこんなイベントがあったらいいよなというのがもしあれば。

今中委員

そうですね。ちょっと今、泉ヶ丘の駅前の広場の機能とかも考えていますので、そういうところにみんなに集まってもらうためには何がないのか、何が必要なのかというのがもうちょっと聞かせていただけるとうれしいなと思います。

橋爪部会長

何か意見がある人。どうぞ。

山本特別構成員

国際化のところで絡めるのであれば、イベントなんですけど、世界の食べ物を集めてきたりみたいな。

今中委員

ああ、グルメ系。

山本特別構成員

そう。グルメ系だったら、大阪市とかでも多分、高島屋がやったりとか、そういうのもあったりとかすると思うんで。何か実際にその国の人に来てもらって、その国の人に作ってもらって向こうの郷土料理とかを提供するイベントみたいながあれば、食べ物やったら結構行きやすいんかなと。一回試してみようという感じで行ってみるっていう。

ただ単に交流するイベント、お話ししようみたいな感じのことを言われても何をもってなるから。それやったら、この国の料理を食べてみようかなのほうハードルとしては低いと思うんで、そういうのをいろんな国の人を交えながらやるのは結構ありなんじゃないかなというふうには思います。

橋爪部会長

場所、どこがいいですか。予算を気にせず好きな場所でできるという。

山本特別構成員

これに関しては、取りあえずいろんな人が集まれる場所。学生でも、中年代の人でも、高齢者でもいろんな人が行けるっていうところを考えると、やっぱり駅近のところになるのかなというか。車で行きやすいところとかでも、歩いて行きやすいところも全てがそろっているところが理想なので。簡単なところで言えば、駅周辺で、ちょっとお祭りみたいな感じでやると全然行きやすい。若い世代も、高齢者の方も、足を運びやすいかなという感じです。

橋爪部会長

ありがとうございます。ほか、お願いします。

岡上特別構成員

私が思ったのは、学生が運営するイベントやと、若い世代、高校生とか中学生の子たちが友達がやっているから行ってみようで、まず、若い世代が来やすくなる。保護者の人とか、40代、30代、50代の人たちも、それでここの高校の子がやっているのだから気になるで来るようになるんかなと思って。

高校とかやったら文化祭とかで飲食とかもそうですし、いろいろ自分たちで企

画してやるっていうのを学校のイベントとしてもできているなら、きっと外部でもできるし。泉北高校やったら、探求活動でそういうイベントを自分たちで開くっていうのもやっているの、泉北高校でできるならほかの高校生も、きっと中学生もできると思うので。中高生がやると、もっと若い世代を引き込むことができるし、それ以外の世代も来やすくなるのかなと思います。

場所の話をさっきしていたんですけど。泉北高校でやっていたイベントは緑道を使ってイベントをやったのを見たので、緑道も人が集まったというのを聞いたので。正直、どこでもやれるといえやれるかなというふうには思ってます。

以上です。

橋爪部会長

はい。ありがとうございます。全国各地で高校生中心の、高校生が企画して高校生が実行委員会で、行政とか企業がフォローする祭りはあちこちあります。私に関わっている京丹後市では、峰山高校の高校生のアイデアで、丹後万博いうのを去年から始めている。峰山高校の高校生のアイデアで、行政はサポートに回って地元企業が応援するみたいなかたちでやっているの。南区国際エキスポ的なのをやりますかね。

あと、大阪で中之島まつりっていうのがある。あれは大学生が中心で、毎年実行委員長が変わって。高校生が中心になった場合、学年を超えてサークル活動みたいになるんですけど。複数の高校一緒に学園祭みたいなものなんです、そこに国際交流とかがプログラムが入っていけるというのは、いいアイデアではなからうかと思います。

ほか、いかがでしょうか。佐々木さん。

佐々木特別構成員

僕が思うイベントは、スポーツ大会を開くのがいいかなと思っていて。やっぱりスポーツってオリンピックもそうだし、国と国がつながったり、地域で例えて地域同士がつながってあそこライバルやな、という感じでもっと地域が活性化するかなと思っていて。

あと、チームを地域ごとに、赤坂台だったり、庭代台だったりで作って競わせるようにしたら、自分の地域内で団結力が高まって地域同士で関わったりするのでもいいかなと思うのと。

やるなら水泳だったり野球、サッカーなど、バスケットボールとかいろんな堺市には南区にもいっぱい施設があったり、プールだったりくら寿司スタジアムだったり、いろんな体育館がいっぱいあると思うので、それで開いたら活性化が。ほかにも中学校とか、参加機会がないところも参加もっとできるのでいいかなと思いました。

橋爪部会長

ありがとうございます。地域対抗運動会という、スポーツ大会というイメージであります。

今中特別構成員

ちゃんと来てよ。やったら来てよ。

佐々木特別構成員

行きます。

橋爪部会長

いろんな連合町会とかで地域の運動会を昔からやっていて。高齢化していると

ころはどんどん止めていってるんですね。だけど、若い人中心にもう一遍、そういうのができればとは思います。

松下特別構成員

僕が幼稚園とか小学校のときは、光明池駅前のサンピアの舞台のところに、何とか戦隊みたいなのがあったり歌手とかが歌ったりして。そのときは、物すごく人が集まっていたので。そういうのを復活することが大事だと思います。

橋爪部会長

はい。

カンデル特別構成員

さっき山本さんが言ったことにも関わるんですけど。成美高校にはいろんな国にルーツがある生徒が多いから、地域とかでイベントとかしていたら結構行ってるんですよ。8月3日にも大阪府にアイハウスっていうやつであるんですけど、そこにも参加していて。自分の国のダンスとか料理とかを日本人とかにも食べてみたりとか、その国と触れ合うことをやっていて。南区もそういうイベントとかを開催してくれたりしたら、成美高校としてみんないろんな国のルーツがあるので開いてくれたらみんな来ると思うので、できたらお願いします。

橋爪部会長

はい。ありがとうございます。ほか。

浦島特別構成員

一番最初に話したので、みんなの意見を聴いていろいろ言いたいことができたんですけど。

南区に住んでない身として、南区に住みたいかと今思うかと言われたら、自然豊かでいいところはあるし、電車で行けるというのは主要3駅で行けたりするんですけど。やっぱり交通費が高かったり、山が近いから坂道が多かったりで、正直、住んだらちょっと大変そうやなと思うのが絶対あるんです。

でも、坂道をなくすなんて無理じゃないですか。地形なので。だから、それ以上の何かは南区にあったらいいなと思うし。南区でしかやってないことって絶対何個かはあると思うんですけど。南区だけがやっていることとか。そういうのって、ほかに住んでいる人とかが知らなかったりするもので、やっていることとか、やろうとしていることというのをもっと広めていけたら魅力って伝わりやすいのかなと思いました。

あと、イベントについては、行きたいと思えるイベントであつたら、駅に近くても遠かったとしても行こうと思ったり。小山の話だったら、誰かが集まるとかなったとき、公園とか、夏の季節、特に日差しが暑かったりするし、雨が降っていたらそういうところに集まれなくなっちゃうので。屋根があるというだけでも結構変わってくるのかなと思いました。

今中委員

暑いしな。

橋爪部会長

暑い、暑い。では、お願いします。

増永特別構成員

さっき地域の運動会っていう話をしていて、ちょっと思い出したので言います

けど。

地域の運動会をするにしても、やっぱり若い人の興味とかそういうのをひくというのは大切なと思うので。普通の運動会っていうのもいいと思うんですけど、変わり種なものが入った、例えばどこかは忘れたんですけど恐竜の着ぐるみ、あるじゃないですか。

今中委員

ああ。はいはい。

増永特別構成員

あれを着て、大人の人が全速力で走るというイベントが前あったのをニュースで見たんですけど。そういったXとか、インスタとかで発信したらバズるとか、そういうふうなことをやってもいいんかなっていうことは思いました。

今中委員

確かに。おもしろいのがいいよね。

橋爪部会長

ありがとうございます。世界でいろんなランニングイベントがある。着ぐるみで走らなアカンとか、いろんな人があるんですけど。要は、大体チャリティーランになっている。目的がチャリティーになっています。主催者側がルールをつくって楽しく走るんだけど、その売上げとかをどっかに、ここに寄附しますみたいな形で、それで公共的なイベントにしているっていう事例は多い。

南区らしい何かファンラン、面白いランでファンランっていうんですけど。面白いファンランを作って緑豊かな公園整備とかに使うとか、何かそんなのをやってもいいかなとは思います。

区長、イベントに関していろいろアイデアが出たので、最後、まとめていただければと思います。

南区長

多分、東区のお祭りでティラノサウルスの着ぐるみを着て走るっていうのをやっていたので、多分それに近いかなと思うんですけども。

おっしゃっていただいているのは、やっぱり前回のときにもXで発信するのもう古いですって言われたのが印象的。もう一体高校生の方に刺さるというのは何でどう発信したらいいんだろうなっていうのは、今回もちょっとすごく思ったところでして。

いろんなアイデアで区もいろいろ考えるんですけども、結局やっぱり最後はそれをどう伝えるか、どうお届けするかっていうところになるのかなとは今回も考えました。

企画の段階からもう一度入っていただくというところ、あと運営も高校生の方というの、もちろんあるんだと思うんですけども。結局、企画して、運営しても、それを伝えてたくさん来ていただけるというところを最終目標にしないといけないので。そこで言うと、本当に来ていただけるためには何をどういうふうに発信するのかなというところは、前回教えていただいたティックトックだけじゃなくてどうするんかっていうところが、区には一番今ない、広報としてないところなんかなというのは思いましたので。こうしたらいいよっていうのがあったら、その発信についてアイデアをいただければ。

橋爪部会長

さっきも広報の話、されていた。Xも古く、ティックトックも駄目ってなっ

て。SNSの何やねんみたいな。何かアイデア。

坂下特別構成員

今は、多分インスタやと思います。私の親が会社をやっているんですけど、そのブランドとかを発信する際にインフルエンサーさんを雇ったりするんですよね。そうしたら、インフルエンサーさんが南区のいろんな撮影スポットだったり、レストランだったり、そういうのを発信してくれるので。そういうのはやっぱり流れてくるので、高校生のところに。多分、いる位置とかによっても出てくるのが違うと思うんですよ。

だから、南区にいるときとかに、例えばこの辺でおいしいレストランないかなとか思ったときに、区の発信してるおしゃれなやつとかがあったらみんな多分そこに行くと思うんです。だから、インフルエンサーさんに協力してもらっていうのも一つの手なんかなと思います。

橋爪部会長

はい。南区にインフルエンサーがいたらいい。この間も天神祭一緒に船に乗って、インフルエンサーと一緒に乗っていた。やっぱり呼ばなあかんで。本当はここにいれば一番いいんですけど。南区への愛が深いインフルエンサーがいるといいですね。ほか、何か。

村上特別構成員

私は、今インスタグラムを消しているのであまり分からないんですけど。ユーチューブショートもありかなと思います。ユーチューブは結構勉強系の関連で、インスタグラムを使っていない方でもユーチューブは結構入っていたりして。ユーチューブショートって結構流れてくると思うんです。企業の名前を出してもいいですか。

橋爪部会長

はい。どうぞ。

村上特別構成員

わかさ生活みたいな企業があるんですけど。それは、社員の様子とか活動の内容とかを伝えつつ、商品とかの紹介をうまくしているんですね。それで、南区もみみちゃんのユーチューブを使って、社員の様子とかも伝えつつ、南区の紹介をして、ついでに南区をたくさんの方が紹介していくのもいいかなと思います。

橋爪部会長

ありがとうございます。お願いします。

浦島特別構成員

一言だけ言うとすれば、何かするときにギャップってあったほうが人の目ってひくと思うんですね。だから、区がやっていることやから堅そうやなみたいなのところを崩して、区がこんなことやっているのっていうギャップがあったら面白くて興味を持ってくれるんじゃないかなって思いました。

橋爪部会長

ぞくぞくとアイデアが。

今中特別構成員

いいですね。

竹村特別構成員

イベントの話とは全然関係なくなっちゃうんですけど。

私も今インスタを見て、今はどうなっているかは分からないんですけど。前のときに、南区のインスタグラムがあるって区長さんから教えていただいて見たら、緑道とかのきれいな写真をいっぱい載っていたと思うんですけど。あれ、どこで撮ったかがいまいち分からなくて。南区のどこか何やろうなっているのは分かるんですけど、写真の位置情報が分からないので。同じ景色を見たいと思ってどこに行ったらいいか分からないみたいな感じだったので、位置情報とかを分かりやすくしたほうがいいと思います。

橋爪部会長

なるほど。ありがとうございます。それは。若干書いている。

南区長

何とか台とか。

橋爪部会長

そうそう。何とか台だけ書いている。

南区長

今写真とかで出てくる位置情報までは入れてないと思います。

橋爪部会長

桃山台とかだけ書いてる。

南区長

そうですね。本当に、次から次へと高校戦略の会議よりも有益な情報が出てくるので、本当に月1ぐらいでやりたいぐらいです。ありがとうございます。

橋爪部会長

またやりましょう。あまりいいねがついてないのか。

南区長

インスタはそうですね。インスタはやっぱり美しい景色、ゆったり南のイメージで絵柄を統一しているのでギャップもないですし。ただ、本当にきれいな南区の、見たことはあるけれどもっていうような。多分、南区にお住まいの方にとっては、見たことはあるけれどっていうきれいなところばかりですね。

橋爪部会長

次回あれば、このインスタをどうしていくのか問題。

南区長

ありがとうございます。

橋爪部会長

すみません。ほかにも意見があるかと思いますが、時間予定になっています。今中さん、最後もし一言あれば。いいですか。

じゃあ、これで閉めたいと思います。

区長、最後、一言御挨拶をお願いします。

南区長

すみません。一言一言、お一人ずつのところには答え出し切れてないですけども。今日いただいた御意見については、皆さんの御意見が全部ウェルビーイングにつながるというところになってきますので、何らかの形で期間はかかるもの、かからないものあるかと思えますけども、1つずつ丁寧に解決できるようにしていきたいと思います。

これら一旦いただいた意見に対してのお返事としてはお返しをさせていただきます。ありがとうございます。

橋爪部会長

ありがとうございます。

では、本日の会議、以上とさせていただきます。

では、進行を事務局にお返しいたします。

区政企画室主査

部会長、ありがとうございました。

本日は、長時間にわたり御議論いただき、誠にありがとうございました。これを持ちまして、堺市南区政策会議第2回未来共創高校生部会を終了します。

それでは、本日は誠にありがとうございました。

閉会（午後2時39分）